

II. 調査の結果

市民の防災意識について

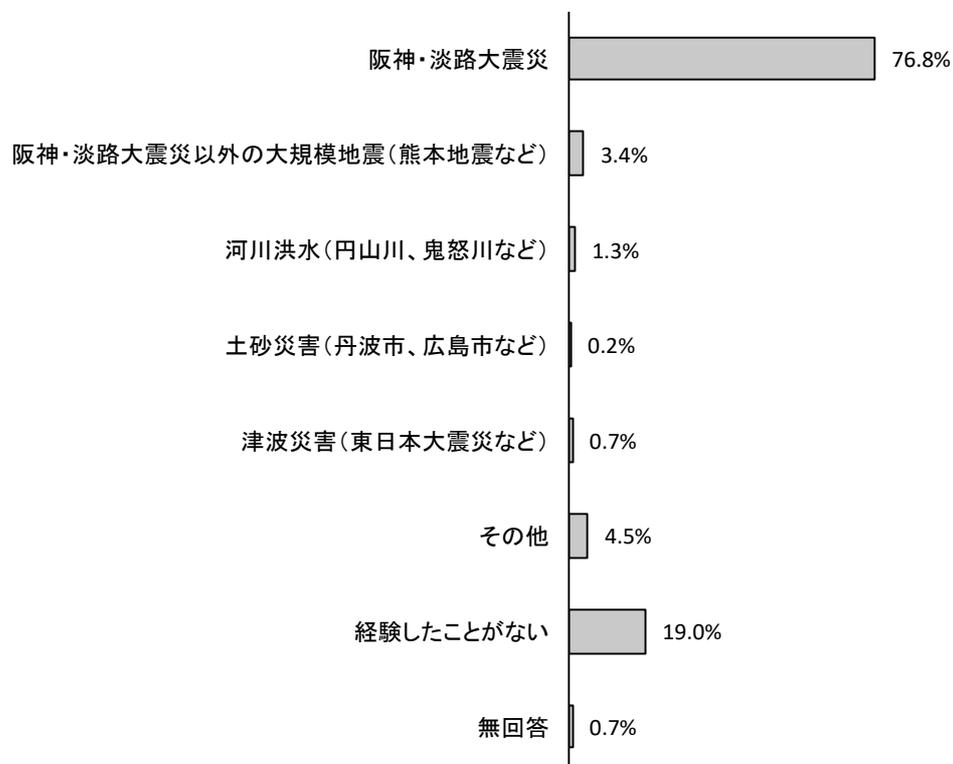
近い将来発生が予測されている南海トラフ地震や激甚化する自然災害から、ご自身や家族、地域の人を守るためには、日頃からの備えが大切です。みなさまの防災に対する普段からの意識や備えを調査し、今後の施策推進に役立てたいと考えています。

問9 これまでにあなた自身が大きな災害を経験したことがありますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

これまでに経験した大きな災害として最も多い回答は「阪神・淡路大震災」。

- これまでに経験した大きな災害として、最も多い回答は「阪神・淡路大震災」で76.8%、次いで「阪神・淡路大震災以外の大規模地震（熊本地震など）」となっている。
- その他としては、「台風」などといった回答があった。

これまでに大きな災害を経験したことがあるか (n=1,831)



- ・「阪神・淡路大震災」と回答した割合は、30歳以上が65%以上と高い傾向にあるのに対し、20歳代以下では約40%以下となっている。

(単位：%)

	阪神・淡路大震災	阪神・淡路大震災以外の大規模地震（熊本地震など）	河川洪水（円山川、鬼怒川など）	土砂災害（丹波市、広島市など）	津波災害（東日本大震災など）	その他	経験したことがない	無回答
全体(n=1,831)	76.8	3.4	1.3	0.2	0.7	4.5	19.0	0.7
18～19歳(n=26)	<u>0.0</u>	7.7	0.0	3.8	3.8	15.4	80.8	0.0
20～29歳(n=107)	<u>41.1</u>	4.7	0.0	0.0	2.8	4.7	49.5	0.0
30～39歳(n=241)	67.2	5.8	0.8	0.0	1.2	2.9	29.5	0.0
40～49歳(n=346)	68.8	5.2	1.4	0.3	0.9	2.3	25.1	0.6
50～59歳(n=318)	75.2	2.5	1.6	0.0	0.6	5.0	22.0	0.0
60～69歳(n=325)	89.8	1.8	0.9	0.3	0.0	3.4	<u>7.7</u>	0.9
70～79歳(n=310)	93.2	1.3	2.3	0.3	0.0	4.8	<u>5.2</u>	1.0
80歳以上(n=153)	89.5	3.9	0.7	0.0	0.0	10.5	<u>3.3</u>	2.6

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

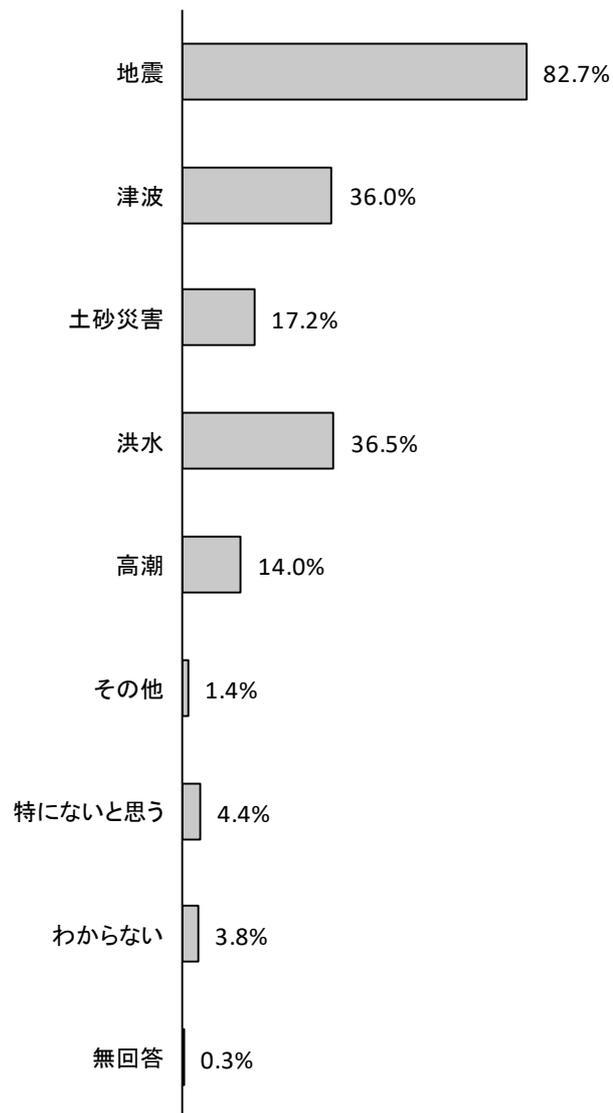
問 10 お住まいの地域にどのような災害の危険性があるか知っていますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

居住地域に起こる危険性がある災害として最も多い回答は「地震」。

- 居住地域に起こる危険性がある災害として、最も多い回答は「地震」で 82.7%、次いで「洪水」が 36.5%、「津波」が 36.0%となっている。

居住地域にどのような災害の危険性があるか

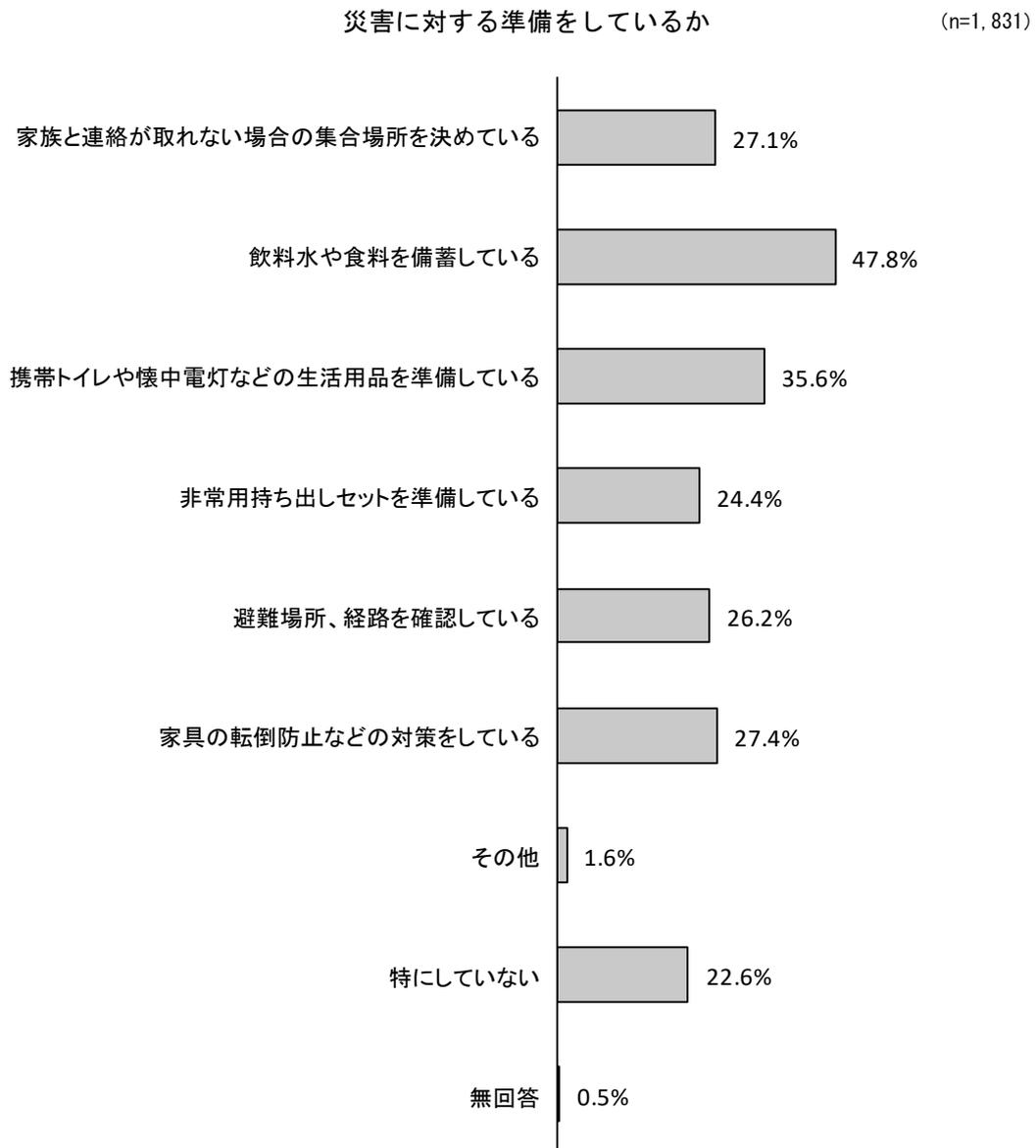
(n=1,831)



問 11 災害に対して何か準備をしていますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

災害に対して行っている準備として最も多い回答は「飲料水や食料を備蓄している」。

- ・ 災害に対して行っている準備として、最も多い回答は「飲料水や食料を備蓄している」で 47.8%、次いで「携帯トイレや懐中電灯などの生活用品を準備している」が 35.6%となっている。



- 単身では「家族と連絡が取れない場合の集合場所を決めている」、「家具の転倒防止などの対策をしている」の割合は低くなっている。
- 「特にしていない」と回答した割合は、単身では高くなっており、夫婦とその未婚の子どもでは低くなっている。

(単位：%)

	家族と連絡が取れない場合の集合場所を決めている	飲料水や食料を備蓄している	携帯トイレや懐中電灯などの生活用品を準備している	非常用持ち出しセットを準備している	避難場所、経路を確認している	家具の転倒防止などの対策をしている	その他	特にしていない	無回答
全体(n=1,831)	27.1	47.8	35.6	24.4	26.2	27.4	1.6	22.6	0.5
単身(n=199)	<u>10.1</u>	39.7	29.1	19.6	24.1	<u>12.1</u>	0.5	35.2	1.5
夫婦のみ(n=523)	21.8	51.1	40.3	24.1	27.5	30.6	1.7	22.0	0.6
夫婦とその未婚の子ども(n=730)	36.3	50.4	35.8	27.4	26.6	29.3	1.8	17.3	0.3
父親または母親とその未婚の子ども(n=157)	23.6	40.1	31.8	20.4	26.8	28.7	1.3	28.7	0.0
息子夫婦または娘夫婦と同居(n=41)	24.4	41.5	29.3	19.5	19.5	22.0	0.0	29.3	0.0
その他(n=147)	31.3	43.5	32.7	24.5	25.2	27.9	2.0	24.5	0.0

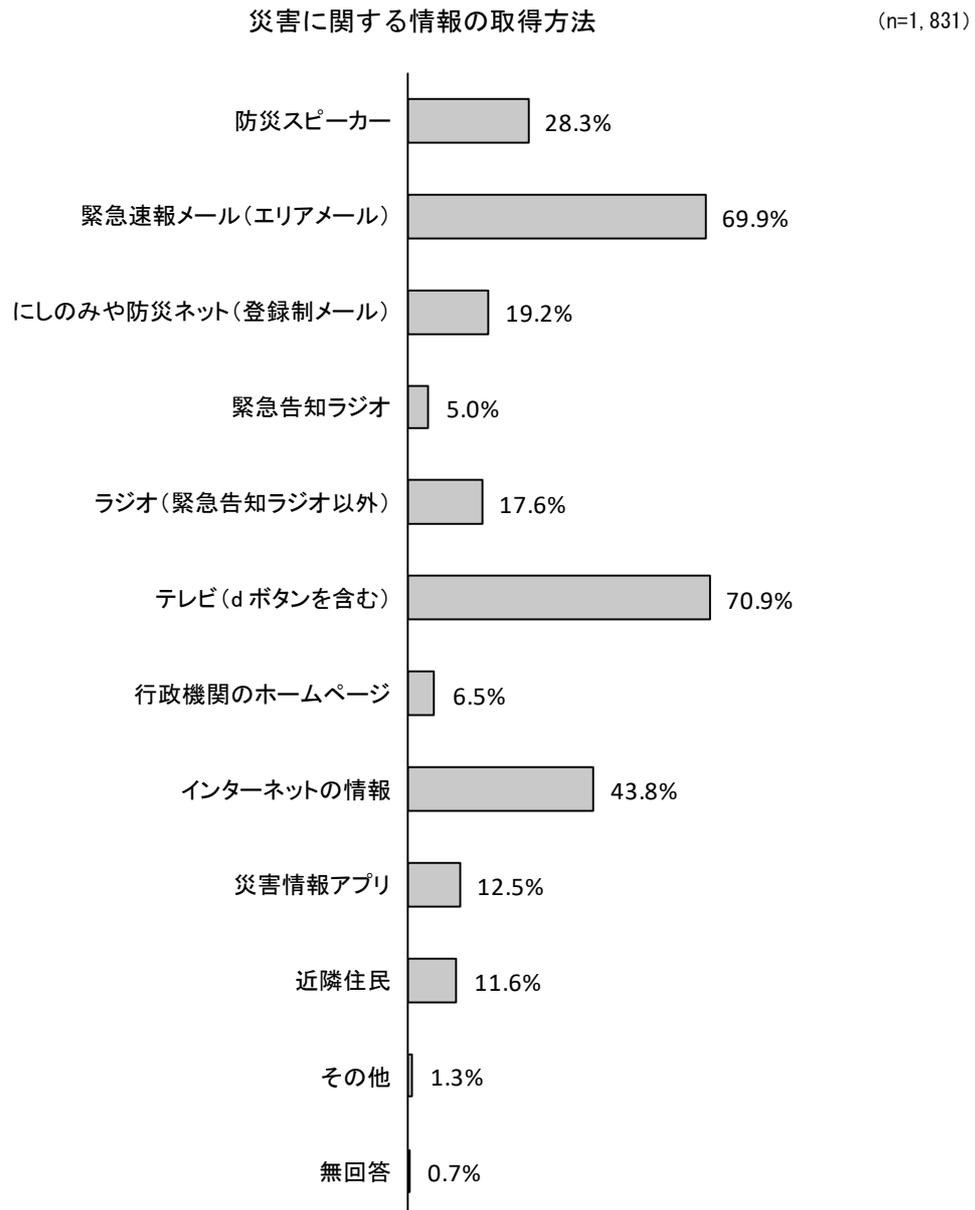
※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

問 12 災害に関する情報をどのような方法で取得していますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

災害に関する情報の取得方法として最も多い回答は「テレビ（dボタンを含む）」。

- 災害に関する情報の取得方法として、最も多い回答は「テレビ（dボタンを含む）」で70.9%、次いで「緊急速報メール（エリアメール）」が69.9%となっている。



- ・ 年齢別にみる回答の割合は、若い世代では「緊急速報メール（エリアメール）」および「インターネットの情報」が高い傾向にあり、80歳以上では「近隣住民」が高い傾向にある。

(単位：%)

	防災スピーカー	緊急速報メール（エリアメール）	にしのみや防災ネット（登録制メール）	緊急告知ラジオ	ラジオ（緊急告知ラジオ以外）	テレビ（dボタンを含む）	行政機関のホームページ	インターネットの情報	災害情報アプリ	近隣住民	その他	無回答
全体(n=1,831)	28.3	69.9	19.2	5.0	17.6	70.9	6.5	43.8	12.5	11.6	1.3	0.7
18～19歳(n=26)	23.1	65.4	<u>3.8</u>	0.0	7.7	61.5	11.5	73.1	11.5	3.8	0.0	0.0
20～29歳(n=107)	<u>15.0</u>	72.0	<u>7.5</u>	0.9	9.3	<u>57.0</u>	11.2	72.9	15.0	2.8	0.9	0.0
30～39歳(n=241)	23.2	78.4	24.5	2.5	12.4	66.0	10.4	61.0	18.3	10.4	0.8	0.4
40～49歳(n=346)	28.3	81.5	37.0	1.4	9.5	65.9	7.5	59.2	15.0	8.7	1.2	0.3
50～59歳(n=318)	26.1	77.4	20.8	2.5	15.4	74.8	8.5	52.5	15.7	10.4	1.6	0.0
60～69歳(n=325)	35.4	73.8	11.4	7.4	23.4	77.2	3.4	35.4	13.5	10.8	0.0	0.0
70～79歳(n=310)	30.0	<u>57.1</u>	13.9	8.7	27.1	73.2	3.9	<u>19.4</u>	4.8	14.8	1.9	1.3
80歳以上(n=153)	32.7	<u>31.4</u>	<u>5.9</u>	13.1	24.8	74.5	2.0	<u>7.2</u>	2.6	26.1	3.3	3.3

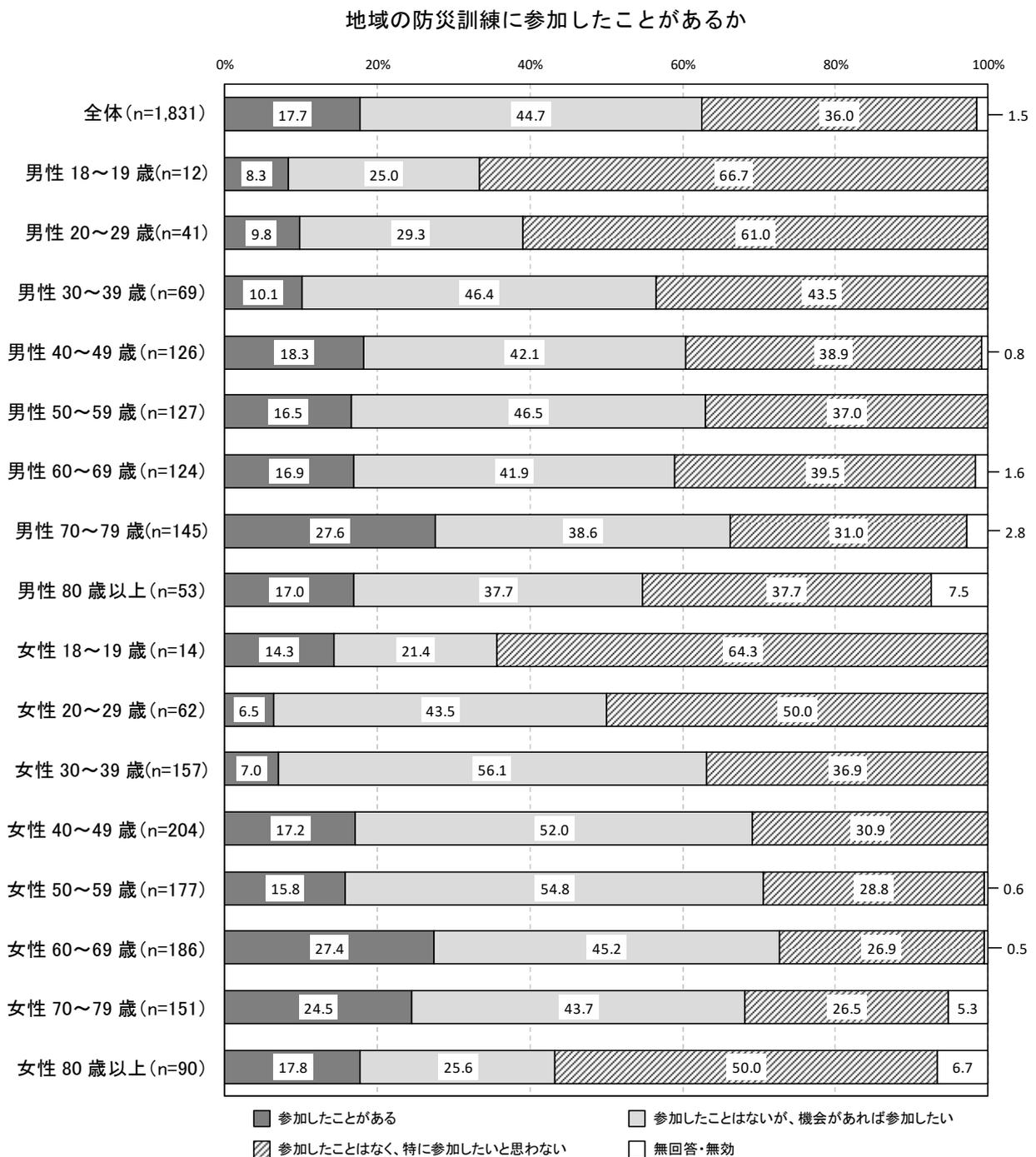
※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

問 13 地域で開催される防災訓練に参加したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

地域の防災訓練に「参加したことがある」人は約18%。

- 地域の防災訓練に「参加したことがある」人は、回答者全体の17.7%となっている。
- 「参加したことがある」人の割合は、高齢の世代で高い傾向にあり、30歳代以下の若い世代では低い傾向にある。
- 「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合は、20～70歳代で男性よりも女性の方が高くなっている。



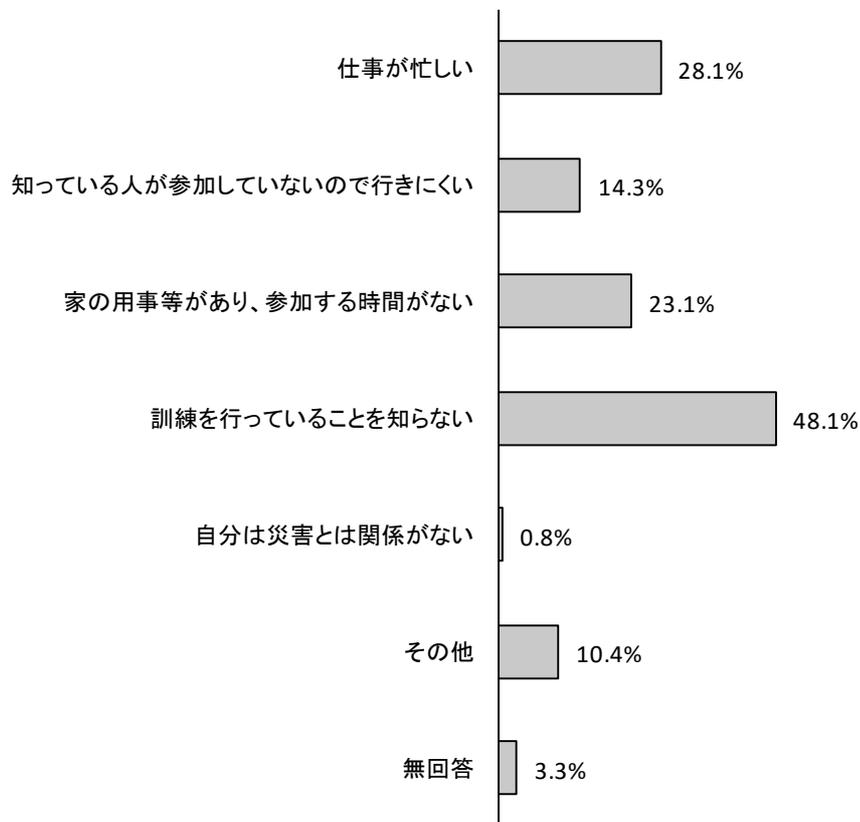
問 14 問 13 で参加したことはないと答えた方にお聞きします。これまで参加したことがない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

参加したことがない理由として最も多い回答は「訓練を行っていることを知らない」。

- 地域の防災訓練に参加したことがない理由として、最も多い回答は「訓練を行っていることを知らない」で48.1%、次いで「仕事が忙しい」が28.1%となっている。

地域の防災訓練に参加したことがない理由

(n=1,478)



- ・ 年齢・性別に見る回答の割合は、「訓練を行っていることを知らない」がどの年齢・性別でも高い傾向にある。
- ・ 「仕事が忙しい」と回答した割合は男女共に20～50歳代で高い傾向にある。
- ・ 80歳以上でその他の割合が最も高く、主に「高齢のため」および「身体が不自由なため」などといった回答があった。

(単位：%)

	仕事が忙しい	知っている人が参加していないので行きたくない	家の用事等があり、参加する時間がない	訓練を行っていることを知らない	自分は災害とは関係がない	その他	無回答
全体(n=1,478)	28.1	14.3	23.1	48.1	0.8	10.4	3.3
男性 18～19 歳(n=11)	<u>0.0</u>	27.3	27.3	63.6	0.0	<u>0.0</u>	0.0
男性 20～29 歳(n=37)	40.5	21.6	16.2	59.5	5.4	2.7	0.0
男性 30～39 歳(n=62)	48.4	11.3	22.6	46.8	0.0	4.8	4.8
男性 40～49 歳(n=102)	49.0	10.8	29.4	41.2	2.0	4.9	1.0
男性 50～59 歳(n=106)	42.5	8.5	26.4	53.8	0.0	1.9	0.9
男性 60～69 歳(n=101)	25.7	10.9	15.8	51.5	1.0	7.9	1.0
男性 70～79 歳(n=101)	<u>7.9</u>	10.9	16.8	43.6	1.0	18.8	9.9
男性 80 歳以上(n=40)	<u>2.5</u>	17.5	<u>5.0</u>	42.5	0.0	25.0	15.0
女性 18～19 歳(n=12)	25.0	25.0	25.0	58.3	8.3	8.3	0.0
女性 20～29 歳(n=58)	32.8	20.7	<u>12.1</u>	63.8	0.0	1.7	3.4
女性 30～39 歳(n=146)	36.3	15.8	25.3	56.2	0.0	4.8	1.4
女性 40～49 歳(n=169)	34.9	15.4	34.9	51.5	0.6	3.0	1.2
女性 50～59 歳(n=148)	35.8	15.5	28.4	41.9	0.0	6.8	1.4
女性 60～69 歳(n=134)	<u>15.7</u>	20.9	23.1	51.5	1.5	11.9	3.7
女性 70～79 歳(n=106)	<u>9.4</u>	16.0	18.9	40.6	0.0	21.7	4.7
女性 80 歳以上(n=68)	<u>0.0</u>	7.4	<u>10.3</u>	<u>33.8</u>	0.0	50.0	7.4

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

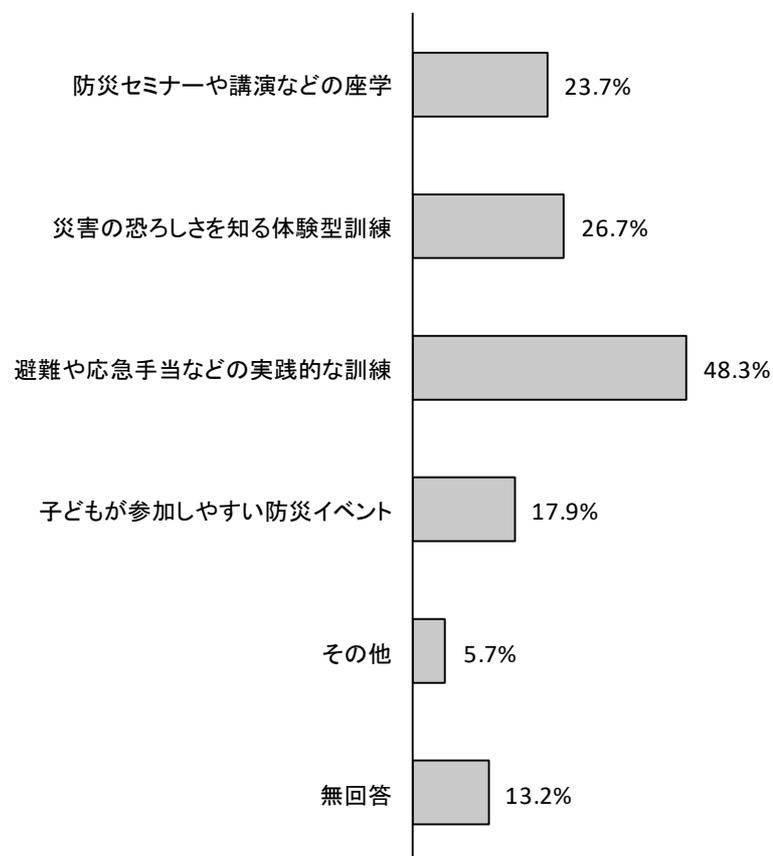
問 15 どのような防災訓練や防災行事であれば参加しようと思いますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

参加しようと思う訓練として最も多い回答は「避難や応急手当などの実践的な訓練」。

- ・ 参加しようと思う防災訓練・行事として、最も多い回答は「避難や応急手当などの実践的な訓練」で 48.3%、次いで「災害の恐ろしさを知る体験型訓練」が 26.7%となっている。
- ・ その他としては、「地域密着型の講演・訓練」や「身体が不自由な人向けのもの」などといった回答があった。

どんな防災訓練・行事であれば参加するか

(n=1,831)



- 80歳以上の男性で「防災セミナーや講演などの座学」の割合が41.5%で最も高くなっており、40～50歳代の女性では「避難や応急手当などの実践的な訓練」の割合が高い傾向にある。
- 「子どもが参加しやすい防災イベント」と回答した割合は男女共に30歳代が最も高く、男性は50.7%、女性は56.1%となっている。

(単位：%)

	防災セミナーや講演などの座学	災害の恐ろしさを知る体験型訓練	避難や応急手当などの実践的な訓練	子どもが参加しやすい防災イベント	その他	無回答
全体(n=1,831)	23.7	26.7	48.3	17.9	5.7	13.2
男性 18～19歳(n=12)	16.7	41.7	50.0	8.3	0.0	8.3
男性 20～29歳(n=41)	17.1	34.1	48.8	12.2	4.9	9.8
男性 30～39歳(n=69)	<u>11.6</u>	39.1	50.7	50.7	4.3	11.6
男性 40～49歳(n=126)	23.0	31.7	48.4	26.2	4.8	8.7
男性 50～59歳(n=127)	21.3	31.5	52.8	<u>7.9</u>	6.3	11.8
男性 60～69歳(n=124)	33.1	21.8	52.4	<u>3.2</u>	2.4	11.3
男性 70～79歳(n=145)	32.4	27.6	44.1	<u>3.4</u>	5.5	19.3
男性 80歳以上(n=53)	41.5	<u>11.3</u>	<u>24.5</u>	<u>1.9</u>	11.3	28.3
女性 18～19歳(n=14)	14.3	35.7	<u>35.7</u>	21.4	7.1	14.3
女性 20～29歳(n=62)	<u>11.3</u>	40.3	56.5	19.4	3.2	<u>3.2</u>
女性 30～39歳(n=157)	15.9	29.9	56.1	56.1	1.3	3.8
女性 40～49歳(n=204)	15.7	25.5	59.3	39.2	4.4	4.4
女性 50～59歳(n=177)	22.0	31.6	59.3	9.6	5.6	10.7
女性 60～69歳(n=186)	32.8	24.7	46.2	<u>4.8</u>	4.8	14.0
女性 70～79歳(n=151)	27.2	21.2	<u>36.4</u>	<u>2.6</u>	6.6	25.8
女性 80歳以上(n=90)	23.3	<u>10.0</u>	<u>21.1</u>	<u>2.2</u>	16.7	34.4

※表内の網掛け部分は、全体を10ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を10ポイント以上下回るものを示している。

施策に向けての一言 <市民の防災意識について>

2018年は災害の多い年であった。台風の来襲も多く、中でも9月4日に近畿に来た台風21号により関西国際空港が孤立したことは記憶にまだ新しい。それ以外にも島根県西部地震（4月）、大阪府北部地震（6月）、北海道胆振東部地震（9月）などの大きな地震もあった。これらの自然災害により市民の防災意識が高まった可能性は高い。

問9は市民の災害経験を尋ねている。西宮市においても大きな被害のあった阪神・淡路大震災の経験者が最も多く、76.8%となっている。問10は居住地域における災害の危険性を市民がどのように認識しているかを尋ねている。地震が最も多く82.7%に上り、洪水の36.5%、津波の36.0%がそれに続く。割合としては少し小さくなるが、土砂災害（17.2%）、高潮（14.0%）も一定数の人々に意識されている。海浜部と山間部を併せ持つ西宮市の特徴が表れていると思われる。

災害に対する備えを尋ねた問11の回答分布をみると、最も高い割合を示すのは「飲料水や食料を備蓄している」が47.8%である。これに次ぐのは「携帯トイレや懐中電灯などの生活用品を準備している」の35.6%で、それ以外の選択肢についてはおおむね4分の1前後の回答者が「準備している」と回答している。一方、「特にしていない」人たちが22.6%おり、これらの人々に対する注意喚起が望まれる。家族構成別の顕著な特徴としては単身世帯において「特にしていない」が35.2%と相対的に高いことがあげられる。単身者への意識啓発が望まれるところである。

問12は市民が災害に関する情報をどこから得ているかを尋ねている。最も多いのは「テレビ（dボタンを含む）」の70.9%、それに次ぐのは「緊急速報メール（エリアメール）」の69.9%である。3番目に来るのが「インターネットの情報」で43.8%となっている。年齢別に回答の分布をみると若い世代ほど「インターネットの情報」に頼っている一方、高齢者の利用度は低い。また80歳以上においては26.1%が「近隣住民」と回答していることも重要だろう。

問13は地域で開催される防災訓練の参加経験を尋ねている。全体では17.7%が「参加したことがある」と回答している。男性の70代、女性の6、70代が相対的に高い参加率である。参加したことのない人たちに不参加の理由を尋ねた問14を見ると、「訓練を行っていることを知らない」という回答が全体で48.1%あり、特に若年層に知られていない傾向が見られる。なんらかの周知手段が検討されるべきかもしれない。「仕事が忙しい」を選択した人が全体で28.1%おり、性別世代別には20代から50代の男性においてこの割合が高い。もっともこの層は職場での防災訓練には参加しているかもしれない。

問15は参加する意思のある防災行事について尋ねている。全体としては「避難や応急手当などの実践的な訓練」が48.3%で最も多く選ばれている。このような訓練の機会を周知していくことは防災上、有益ではないか。

（関西学院大学 山田真裕）